



のら犬ウィリー

マーク・シーモント さく
みはらいすみ やく
あすなる書房

サイモ

ピクニックへ行って見つけた子犬。家族は気に入り、ウィリーと名づけて遊びました。ウィリーには自分の家があるはずだから、連れて帰れません。でも、飼いまいがないのかも……。ウィリーの表情や家族みんなの行動が、いきいきとていねいに描かれています。



ピーターラビットのおはなし

ビアトリクス・ポター さく・え
いしいももこ やく
福音館書店

ホタ

フロブシー、モブシー、カントンテール、ピーターの4匹のうさぎは、おかあさんと一緒に大きなもみの木の下の穴に住んでいました。ある朝、ピーターは行ってはいけないと言われていたお百姓のマグレガーさんの畑へもぐりこみ、野菜を食べていると、さあ大変!



ひとつ、アフリカにのぼりたいよう

ウェンディ・ハートマン 文
ニコラス・マリツ 絵
さくまゆみこ 訳
文化出版局

マリツ

「ひとつ、アフリカにのぼりたいよう」で始まり、同じ言葉で終わる数え歌の絵本です。動物たちの姿、存在感のある太陽や月を見ていると、アフリカの大地を感じる事ができます。そして、そこから自然や生命について思いをめぐらせてください。



風来坊
(ふうらいぼう)

川端誠 作
BL出版

カフハ

修行はしない、お経も読まない、しかし木彫りにかけては天下第一のお坊さん、人呼んで「木彫りの風来坊」。腹をすかせた風来坊が着いた村は、もうじき野武士が襲ってくるというのです。ごちそうをたいらげた風来坊は、村人を助けなければなりません……。



ふくろうくん

アーノルド・ローベル 作
三木卓 訳
文化出版局

ロヘル

ふくろうくんは、悲しいことを思いうかべて、自分の涙でお茶をいれようとしています。とてもユーモアあふれる暮らしぶりです。どこかおかしなふくろうくんの生活を、ちょっとのぞいてみませんか?



ふたりでしゃしんを

ガブリエル・バンサン さく
もりひさし やく
ブックローン出版

ウアン

くまのアーネストおじさんと小さなねずみのセレスティヌは、二人で仲良く暮らしています。アーネストが買い物に出かけた間、セレスティヌは、かぎのかかっているアーネストの引出を開けてしまいます。そこには知らない写真がたくさん入っていたのです。



ふたりはともだち

アーノルド・ローベル 作
三木卓 訳
文化出版局

ロヘル

一度も手紙をもらったことがないがまくんは、からっぽの郵便受けをみつめています。それを知った友だちのかえるくんは、急いで家に帰り、がまくんへの手紙を書き、かたつむりに配達をたのみました。ふたりは、しあわせな気持ちでそれを待ちます。



ブルーベリーもりでのブツェのぼうけん

エルサ・ベスコフ さく・え
おのでらゆりこ やく
福音館書店

ヘスコ

ブツェは、ブルーベリーとこけももをお母さんの誕生日の贈り物にしようと思へ出かけますが、ひとつも見つかりません。途方に暮れて泣いていると、ブルーベリー森の王様が現れました。ふたりは手をつなぎ、魔法の国のしだの林を歩いていきました。



よあけ

コリー・シュルヴィッツ 作・画
瀬田貞二 訳
福音館書店

シユル

物音ひとつしない真夜中。次第に夜明けが近づいてきます。そんな静かな夜明けの様子が、淡々と語られています。ページをめくるたびに景色が明るさを増していき、青の淡い色調の絵は、まるで実際の夜明けを見ているようです。



ルピナスさん

バーバラ・クーニー さく
かけかわやすこ やく
ほるぶ出版

クニ

ルピナスさんは、花に囲まれた家に住む小さなおばあさんです。若い頃は世界中を旅し、世の中を美しくするステキなことを思いつきました。クーニーが絵を描いた作品には、古き良き時代のアメリカの生活が綴られた「にくるまひいて」もあります。



ろくべえまってるよ

灰谷健次郎 作
長新太 絵
文研出版

チヨウ

犬のろくべえが穴の中に落ちました。穴は深くて真っ黒です。ろくべえが死んでしまうかもしれません。小学1年生のみなは、なんとか助けようといっしょうけんめい考えますが、大人は誰も振り向いてくれません。